

障害差別、過去最多

人権救済の相談で（法務省）

法務省が3月17日に公表した「2016年における人権侵犯事件の状況」で、障害者に対する差別待遇に関する事件数が前年より21件（8%）増の286件となり、過去最多だったことが分かった。

法務省の人権擁護機関が新たに救済手続きを始めた人権侵犯事件は、前年より556件（7%）減の1万9,443件。内訳は「暴行・虐待」が3,616件（全体の19%）で最も多く、「学校におけるいじめ」3,371件（17%）、「プライバシー関係」2,472件（13%）、「住居・生活の安全関係」2,446件（13%）と続く。

「暴行・虐待」のうち、女性、児童、高齢者、障害者が被害者だったのは210件（7%）減の2,867件。福祉施設の人権侵犯事件は63件（40%）減の158件だった。

障害者に対する差別待遇事案では、視覚障害者が盲導犬の同伴を理由にホテルから宿泊を拒否されたケースがあり、法務局が同ホテルの経営者に同様の行為をしないよう「説示」したなどとしている。

（福祉新聞・第2807号 2017年4月3日）

障害分野の書庫開設

きょうされん内に（東京・中野）

きょうされん（西村直理事長）は10日、障害福祉関連の蔵書や音声・映像資料のアーカイブセンター（書庫）を開設した。東京都中野区内の事務局にあり、誰でも閲覧できる。上田敏・日本障害者リハビリテーション協会顧問など障害福祉に長く携わった人の寄贈コーナーを設けたほか、加盟事業所の会報誌もそろえた。

きょうされんは1977年8月に16か所の共同作業所により結成され、現在の会員は障害関連事業所約1,900か所。これまでは寄贈された蔵書があっても

公開スペースがなく、眠ったままの希少品も多数あったという。昨秋の事務局の建て替え完了を機にセンターの開設準備を進めてきた。

蔵書は順次追加し、約9,000冊を収納する予定。当面は閲覧のみで、貸し出しはしない。コピーをとることは応相談という。開館は月～金曜日の午前9時～午後5時。入館は無料。問い合わせは事務局（☎03-5385-2223）まで。

（福祉新聞・第2808号 2017年2月24日）